



報道関係各位

カイト(株)、成果報酬型コンテンツ配信プラットフォーム『appC』 SDK を2.0にバージョンアップ。

2012年6月5日
カイト株式会社

スマートフォン向けアプリ検索サービス「giveApp」ならびに、成果報酬型コンテンツネットワーク『appC』を運営するカイト株式会社(以下 カイト)は、『appC』 SDK導入のメディアアプリ開発者向け SDKを2.0にバージョンアップしました。

『appC』とは、Androidアプリ向けインストール成果報酬型コンテンツネットワークサービスです。『appC』 SDKを導入しているメディアアプリを経由して、出稿主のアプリをインストール誘導する事で課金が発生するCPIサービスであり、メディアアプリ開発者のマネタイズをサポートし、出稿主には費用対効果の高いマーケティングを提供致します。<<https://app-c.net/>>

今回の『appC』 SDK 2.0では、メディアアプリ開発者やスマホユーザーが懸念しているプライバシー・セキュリティ面に配慮した仕様を組み込んでおり、スマホユーザーにとっても受け入れやすく、またメディアアプリ開発者にとってもインストール誘導の成果が出やすい『appC』 SDKとなっております。

【 app C シンプル型 SDK 】

【 app C タワー型 SDK 】

【 SDK 展開後画面 】





【『appC』 SDK 2.0 におけるプライバシー・セキュリティ対応について】

成果測定のための端末固有ID(グローバルID)を廃止

これまでの『appC』 SDKでは端末毎にコンテンツの成果を測定するため、端末固有ID(IMEI)をメディアアプリより取得しておりました。『appC』はサービス開始時からこの端末固有IDを持つプライバシー・セキュリティリスクに配慮し、十分な暗号化と匿名化を実現して参りましたが、SDKのリバースエンジニアリングによる暗号化(ハッシュ化)ロジックの看破に対する防御力はなく、利用ユーザーの元の端末固有IDの特定は困難であっても、不可能ではありませんでした。

他社のアドネットワークサービスでも端末固有IDに依る端末特定は、今後少なくなっていくこととされますが、先駆けて『appC』では成果測定に端末固有IDに依らないサービス独自のappC IDを生成するように仕様変更しました。このappC IDは再生成・破棄と送信停止が可能となっており、スマホユーザーには、より安心してアプリをご利用頂けることと思います。

この仕様変更により、“端末のステータスとIDの読み取り (READ_PHONE_STATE)”のパーミッションが不要になり、より多くのメディアアプリ開発者に『appC』を導入頂き、スマホユーザーにもそのメディアアプリが受け入れられ、出稿主アプリのインストールが今まで以上に促進されることを願っております。

【『appC』への広告出稿をご検討の企業様向け】

『appC』への広告出稿は100ダウンロード保証、¥30,000-から可能です。100インストール以上は上限無しで、1インストールあたり300円となります。他社のアドネットワークにはない特徴として、出稿主側でのSDKの設置などの煩わしい作業は一切必要ございません。最短で申込み当日から配信が可能となります。また現在出稿条件としては、Google社提供のGoogle Play上でリリースされている無料のAndroidアプリのみに限定されます。

* WEBよりお申し込みの方：<https://app-c.net/#!sponsor>

* お電話でお申し込みの方：03-5475-3385 (営業担当まで)

【会社概要】

会社名 カイト株式会社 (英文表記：cayto inc.)
資本金 9,000 千円
設立 2008年4月1日
所在地 〒108-0072 東京都港区白金6-21-4 #406
TEL 03 5475 3385 FAX 03 5475 3386
URL <http://www.cayto.jp/>
事業内容 iPhone,Android向けアプリポータル「giveApp (ギブアップ)」の運営
成果報酬型コンテンツネットワーク『appC (アブシー)』の運営

【当リリース掲載・取材に関するお問い合わせ】

担当：糸賀 (いとが)
TEL：03-5475-3385
Mail：contacts@cayto.jp